

認知症に関する活動計画（概要）

香川県作業療法士会では香川県や各市町からの依頼を受け、健康ステーション健康長寿講座や認知症予防講座に継続的な県士会員派遣を行っている。健康ステーション健康長寿講座は、高齢者にかかわる総合的な健康をテーマに行われており、認知症に関するテーマは非常に関心が高く、作業療法士による講座は毎回好評を得ている。人材育成としては、香川県長寿対策課とともに、2016年から認知症初期集中支援員養成事業を、初期集中支援に限らず広く地域実践につなげるため、認知症ケア人材育成研修補助事業として実施している。また、香川県からの委託事業として、3団体協力のもと、認知症予防キャラバン事業として、県民に対する普及と啓発、予防に取り組んでいる。

認知症ケア人材育成研修補助事業

県から地域医療介護総合確保基金事業として補助を受けて実施している。対面とWebによるハイブリッド研修会を実施している。初期集中支援に限らず地域への実践につなげられるよう、直近ではその人を引き出す支援として、徳島県士会のラシーサカードを紹介いただき参加者で考えた。今後も創意工夫しながら進めていく予定である。



健康ステーション健康長寿講座

高松市からの依頼で、高松市健康ステーションにおいて、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職が健康・介護予防に関する講座をおこなっている。毎年、OTは認知症講座を担当している。参加者からは「日ごろ理解しているつもりでも、いざ直面したら考えさせられました。」、「具体例を挙げて認知症患者への対応を教えていただき、とても参考になった。」などの声を頂いている。



認知症予防キャラバン事業

香川県からの委託事業として作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会のリハ職3団体が協力し「認知症予防キャラバン事業」を実施している。新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、講師や参加者が安心、安全に参加できるように配慮しておこなっている。地域の自治会や老人会からの依頼で約70件の事業を実施した。75名の講師（OT/PT/ST）を派遣し、延べ781名の県民の皆さまに参加いただいた。今年度も概ね70～80件前後の派遣を予定している。

